
広島県版 OQ通信 号外

メールマガジン（令和元年6月19日配信）

本メールは、広島県「被災建築物応急危険度判定士」の登録をいただいている方へお送りしています。広島県の建築行政の推進につきましては、平素から御理解と御協力をいただき、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

このメールマガジンは、被災建築物応急危険度判定に関する連絡や情報をご案内するためのツールの一つです。次のとおり、広島県版OQ通信メールマガジン号外を発行します。

////////////////// I N D E X ////////////////////

1. 令和元年6月18日の山形県沖の地震について

////////////////////////////////////

■ 1. 令和元年6月18日の山形県沖の地震について———

令和元年6月18日22時22分頃に山形県沖を震源とするマグニチュード6.7（暫定値）の地震が発生しました。

強い揺れを観測したのは新潟県村上市（震度6強）、山形県鶴岡市（震度6弱）ですが、6月19日夕時点で、被災建築物応急危険度判定の実施予定は未定です。

今後、被災建築物応急危険度判定を実施することになり、被災県から応援要請がある場合は、被災府県→北海道・東北ブロック→全国ブロック（中国四国ブロックを含む。）という順番で要請がありますが、現時点では応援要請のある可能性はかなり低いと思われます。（広島県に応援要請があった場合は、当面行政職員で対応する予定です。）

このことについては、次の広島県ホームページに掲載し、逐次更新していきます。広島県に応援要請がある等、状況に大きな変化があった場合は改めて、このメールマガジンでお知らせします。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/oukyu-madoguchi/>

また、今後、国内で大きな地震が発生した場合には、こちらのホームページで応急危険度判定の実施状況を確認していただければと思います。

☆最後までご覧いただきありがとうございました☆
